

報告事項 ス

平成30年度韓国江原道児童生徒交流派遣について

平成30年度韓国江原道児童生徒交流派遣について、別紙のとおり報告します。

平成30年7月18日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

(別添資料)

平成30年度韓国江原道児童生徒交流事業について

平成30年7月18日
小中学校課

1 目的

韓国江原道と鳥取県との教員交流の実績をもとに、児童生徒の交流を行い、相互の理解と友好を深めるとともに、国際感覚の豊かな児童生徒の育成を図る。

2 期 日

平成30年6月19日(火)～6月22日(金)

3 訪問団

児童生徒20名(小学生6名、中学生7名、高校生7名)

引率5名(団長1名、教員2名、国際交流員1名、事務局1名) 計 25名

4 日 程

期日	内 容
6月19日(火)	・ 県庁出発 10:30 (バスで米子空港まで移動) ・ 結団式 14:00 (米子空港内) ・ 米子空港発 15:00 (エアソウルRS741) 仁川空港着 16:40 ・ 江原道へ移動 江原道泊(ホテル)
6月20日(水)	・ 教育庁へ表敬訪問 ・ 江原道内学校訪問 学校紹介、授業参観、児童生徒との交流 江原道泊(ホームステイ)
6月21日(木)	・ 江原道内文化施設訪問 ・ 京畿道へ移動 京畿道泊(ホテル)
6月22日(金)	・ 仁川空港発 9:30 (エアソウルRS742) ・ 米子空港着 11:00 ・ 解団式 11:30 (米子空港内)

(参考)

鳥取県教育委員会と韓国江原道教育庁は、1995年に姉妹結縁協定を締結して以来、教育長と教育監との相互定期訪問、教員交流、高校生のスポーツ交流、児童生徒の美術作品交流など、さまざまな交流を行ってきた。

本事業は、21世紀の日韓関係を担っていく両国の小・中・高校生同士の交流を行い、相互理解と友好を深めることを目的として、平成13年度江原道からの訪問団を受け入れスタートした。鳥取県からの訪問団(訪韓)は今回が7回目(H14、16、18、24、26、28、30)となる。

平成30年度 韓国江原道との児童生徒交流【交流の詳細】

<6月19日 米子鬼太郎空港出発>



<6月19日 韓国仁川空港到着>



<6月19日 教育局長主催 晩餐会>



午後3時半に米子鬼太郎空港を出発し、無事韓国に到着しました。夕食にダッカルビをいただきました。「これまで生きてきた中で一番辛い物を食べた」と子どもたちは感想を言っていました。江原道教育庁からは、教育局長、課長が参加されました。

<6月20日 教育監表敬訪問>



教育監を表敬訪問しました。児童生徒代表の高校生が韓国語で挨拶を行いました。教育監から「韓国語が上手だね」と声をかけてもらいました。教育監の挨拶をいただき、江原道の教育について説明を受けました。教育庁内を見学させてもらいました。

<6月20日 ソルセム初等学校訪問>



バスから降りると、ホームステイ先の児童生徒が駆け寄って、迎えてくれました。6年生全員でドッジボール大会をしました。すぐに打ち解けて仲良くなりました。食堂で給食をいただき、午後からは工作をしました。放課後のクラブ活動にも参加しました。

< 6月20日 丹邱中学校訪問 >

韓国の生徒と一緒に海苔巻きを作りました。おいしい海苔巻きができました。英語の授業にも参加しました。韓国の生徒たちは英語が上手で驚きました。



< 6月20日 春川女子高等学校訪問 >



英語の授業が行われていたクラスに飛び入りで参加し、高校生の班長が韓国語で自己紹介しました。その後、英語や日本語、韓国語などお互いのことについて質問などを交わしました。

春川女子高生徒達はとても活発で、歓声や笑い声などが聞かれた充実した内容となりました。



午後からはチマチョゴリの衣装体験と、その姿で日本語クラスに参加し、意見を交換しました。

韓国の生徒達は第二外国語で日本語を選択していることもあり日本への関心が高く、質問も多く出るなど大いに盛り上がった内容となりました。

< 6月21日 文化体験Ⅰ 印刷と本の博物館 >



昔、印刷をどのように行っていたのか説明していただきました。二万字の中から必要な文字を取り出し、印刷の原稿を作ったそうです。実際に印刷する工程も職人の方に見せていただきました。

それぞれが自分の名前の文字をはがきに印刷する体験をしました。よいお土産ができました。

< 6月21日 文化体験Ⅱ 南怡島 >



船に乗って島に渡り、自然が美しい島の中で自由行動をしました。お土産屋も多く、子どもたちそれぞれが楽しい時間を過ごすことができました。